

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち				
施策	環境にやさしいまちづくり				
基本施策	環境衛生の保持				
取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する				
主管部局	市民生活部 環境課	関連部局			

めざす暮らしの姿

環境衛生の保持

基本方針

3Rの推進、ごみの分別の徹底により、ごみ排出量の減量化、不法投棄などを防止し、廃棄物の適正処理に努めます。

施策の方針

廃棄物の適正な処理を進め、環境への負荷をできる限り低減します。
また、老朽化する施設については延命化に取り組むとともに、持続可能な処理方法の検討を行い、事業化に向け取り組みます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	25.08	23.12	26.35	25.49	24.17	24.17
会計年度任用職員数	0.65	2.47	0.7	1.03	0.63	0.63
人件費計	171,122,156	180,482,897	172,005,146	180,496,220	170,487,099	170,487,099
事業費計	326,605,821	323,925,094	380,739,166	345,693,000	341,626,000	341,626,000
フルコスト	497,727,977	504,407,991	552,744,312	526,189,220	512,113,099	512,113,099

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金		3,853,000			0	0
特定県支出金	206,000	206,000	206,000	206,000	0	0
財市債	25,900,000	10,600,000	24,900,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000
源その他	101,279,256	85,687,000	80,593,000	82,904,000	82,904,000	82,904,000
一般財源1	370,342,721	404,061,991	447,045,312	436,379,220	422,509,099	422,509,099
一般財源2	199,220,565	223,579,094	275,040,166	255,883,000	252,022,000	252,022,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	焼却ごみ量					
単位	t					
指標数値のめざす方向	減少					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
単年度実績値	8,118	8,014	8,052			
単年度達成率						

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	焼却ごみ量
前年度との比較	
所見	ごみ排出量は、平成10年度のごみの有料化以後、分別の徹底が図れており、令和5年度については、前年度比で若干量増えているが、ここ数年9,000t以下で推移している。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
リサイクル推進事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので定額ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。	市民のリサイクル推進の場として、十分な役割を果たしており、引き続きニーズなどを見ながら継続して事業を行いたい。	
ごみ箱等設置補助事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行っており、地域的美観確保につながっている。	概ね計画通りに進捗している。	
塵芥収集事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	分別されずごみ出しが行われているステーションがあるので、普及啓発を行う必要がある。	収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。	
美化センター管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	新施設の計画が必要となっている。	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理に努めている。	
最終処分場管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋立てごみの削減を図る必要がある。	埋立てについて、減量を図りながら延命化に努める必要がある。	
粗大ごみ処理事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。	
ごみ有料化事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	コスト削減や在庫管理の徹底を図る。	概ね計画通りに進捗している。	
リサイクルセンター管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要がある、逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。	使い捨てからリサイクルの定着に対応すべく、分別の徹底によりごみの適正処理ができています。	
環境クリーン事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。	概ね計画通り進捗し、市内の環境美化が図られた。今後も周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究し、ごみの適正処理を推進していく。	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
近畿自然歩道事業	
清掃総務費事務経費	
塵芥処理費事務経費	
(仮称)地域エネルギーセンター推進事業	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
焼却ごみ量			
市民1人が1日に出すごみ			
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	0%	低	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	概ね計画通りに進捗している。		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 分別収集の徹底により、ごみの減量化、リサイクル化が図れた。
構成事務事業に課題はないか	ない ごみの分別の徹底に努め、廃棄物の再利用や再資源化を図りながら更なる環境への負荷軽減に努める必要がある。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。
今年度の成果等	ごみ処理については、家庭ごみ4,763tを収集し、美化センター直接搬入4,423tと併せ9,186tを処理した。その中で可燃ごみは、湿重9,026tを焼却処理し、また資源ごみについては、1,070tをリサイクルセンターにおいて中間処理した上で、再生業者に引き渡し、再資源化を図った。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち				
施策	環境にやさしいまちづくり				
基本施策	環境衛生の保持				
取り組み事項	し尿の適正な処理をする				
主管部局	市民生活部 環境課	関連部局			

めざす暮らしの姿

環境衛生の保持

基本方針

安定したし尿収集により地域の環境衛生の保全を図ります。

施策の方針

し尿収集について、水洗化への移行を図りつつ、効率的な収集に努めます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	2.08	2.1	2.02	2.02	0.0	0.0
会計年度任用職員数	0.08	0.08	0.08	0.08	0.0	0.0
人件費計	14,228,693	16,181,915	13,225,431	14,300,639	0	0
事業費計	1,141,452	791,018	827,114	1,166,000	0	0
フルコスト	15,370,145	16,972,933	14,052,545	15,466,639	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金					0	0
特定県支出金					0	0
財市債					0	0
源その他	1,141,452	1,183,000	1,141,000	1,166,000	0	0
一般財源1	14,228,693	15,789,933	12,911,545	14,300,639	0	0
一般財源2	0	-391,982	-313,886	0	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	全世帯に対するし尿収集世帯の割合					
単位	%					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
単年度実績値	1.5	1.5	1.5			
単年度達成率	100%	100%	100%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	全世帯に対するし尿収集世帯の割合
前年度との比較	→: 維持
所見	計画通りに進捗している。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
し尿収集事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
全世帯に対するし尿収集世帯	100%	→:維持	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	100%	高	A:順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	計画通りに進捗している。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 水洗化の促進等を図る中、収集量は減少しているが、効率的な収集計画に基づき適正処理された。
構成事務事業に課題はないか	ない ここ数年で収集量は横ばいであるが、収集回数やコースの見直しを図るなど、コストの削減に努め、効率的な構成となっている。
施策の総合評価	A:順調に進捗している 効率的な収集計画に基づきコスト削減に努め、適正に対応できた。 今後も、効率的な収集計画に基づき適正処理を行う。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	し尿の収集処理量が減少する中、収集体制と処理業務においては、効率的で適正な運営がなされている。今後も、水洗化できない世帯の実情を理解し、それに応じた施策の展開を検討し、事業の運営を行っていく。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち				
施策	環境にやさしいまちづくり				
基本施策	環境衛生の保持				
取り組み事項	感染症の蔓延を予防する				
主管部局	市民生活部 環境課	関連部局			

めざす暮らしの姿

環境衛生の保持

基本方針

感染症の蔓延を予防するため、適切に対処します。

施策の方針

側溝などに発生する害虫などについては、地域の協力を得て、駆除を行うなど適切に対処します。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.12	0.12	0.05	0.03	0.02	0.02
会計年度任用職員数	0.18	0.18	0.18	0.2	0.01	0.01
人件費計	1,067,865	1,181,624	594,061	592,115	159,177	159,177
事業費計	277,566	315,415	373,586	728,000	13,000	13,000
フルコスト	1,345,431	1,497,039	967,647	1,320,115	172,177	172,177

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金					0	0
特定県支出金					0	0
財市債					0	0
源その他	277,566	370,000	330,000	330,000	0	0
一般財源1	1,067,865	1,127,039	637,647	990,115	172,177	172,177
一般財源2	0	-54,585	43,586	398,000	13,000	13,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	薬剤配布件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	10	10	10			
単年度達成率	50%	50%	50%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	薬剤配布件数
前年度との比較	→: 維持
所見	概ね計画通りに進捗している。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
畜犬登録事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
薬剤配布件数	50%	→:維持	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	50%	低	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	保留 利子補給対象借入の見込みがないことから令和7年度以降において、公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業の予算措置は保留とする。
構成事務事業に課題はないか	ない 衛生面や感染症予防のため、衛生害虫駆除事業は事業として妥当である。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している 市内の側溝からの感染症を予防するためにも、害虫駆除事業は継続する必要がある。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	地区清掃での防虫防除用として使用する殺虫剤等を配布した。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち				
施策	環境にやさしいまちづくり				
基本施策	環境衛生の保持				
取り組み事項	墓地などの適正管理に努める				
主管部局	市民生活部 環境課	関連部局			

めざす暮らしの姿

環境衛生の保持

基本方針

斎場・墓地施設は安らぎのある場となるよう、適正な管理を行い、また、多様なニーズに柔軟に対応できるよう努めます。

施策の方針

斎場の運営については、核家族化などに伴い、増加する家族葬など多様なニーズに柔軟に対応するとともに、施設について、点検及び計画的な改修により延命化を図ります。 また、墓地需要の動向を正確に把握し、新たな市民ニーズに対応していくとともに、墓地全体の適切な管理運営に努めます。
--

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.95	1.08	0.87	0.24	0.19	0.19
会計年度任用職員数	0.04	0.04	0.04	0.67	0.57	0.57
人件費計	6,503,554	8,320,453	5,704,406	2,960,629	2,419,436	2,419,436
事業費計	102,477,237	77,510,853	57,589,605	57,151,000	55,845,000	55,845,000
フルコスト	108,980,791	85,831,306	63,294,011	60,111,629	58,264,436	58,264,436

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金				0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
	その他	71,201,330	46,807,000	33,265,000	33,680,000	33,680,000
一般財源1	37,779,461	39,024,306	30,029,011	25,125,629	24,584,436	24,584,436
一般財源2	31,275,907	30,703,853	24,324,605	22,165,000	22,165,000	22,165,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	葬儀件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	88	109	112			
単年度達成率	88%	109%	112%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	葬儀件数
前年度との比較	↑：向上
所見	葬儀形式の多様化により、家族葬が増えており、ささゆり苑での葬儀についても少人数での団体利用が増えたことで、前年度比の件数が増加に転じている。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
市営墓地使用料還付事業	

施策の事後総合評価

(1)施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
葬儀件数	112%	↑:向上	112%
使用料収入	112.77%	↑:向上	112.77%
一般墓地貸付件数	100.73%	↓:低下	100.73%
合葬式墓地貸付件数	75%	↓:低下	75%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	100.12%	高	A:順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	計画通りに進捗している。		

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 斎場の運営、墓地の適正管理ともに多様化する市民ニーズに対応することができた。今後も改善できる部分を抽出し、より充実した施設の運営管理等に努める。
構成事務事業に課題はないか	ない 令和5年度において、葬儀事業関係でささゆり苑での葬儀の件数が、目標値である100件をクリアしており、家族葬等の増加に伴う市民ニーズの多様化が主な要因となっている。構成事務事業も現実的な構成で設定できており、現状のまま継続していく。
施策の総合評価	A:順調に進捗している 事務事業全体としては予定どおり進捗しているが、葬儀事業等、見直しができるところは今後の課題として取り組んでいく。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	老朽化に伴う火葬炉や設備の改修を長期計画に基づきながら実施し、より市民ニーズに対応した施設運営の充実を図る。 市営墓地についても、一般墓地と合葬式墓地、それぞれの役割を整理し、整備を行いながら適正管理に努める。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010001	事務事業名	リサイクル推進事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	限りある資源を有効に利活用するため、リサイクル可能なごみについて適正に分別し、再資源化へ向け中間処理を行う。					
対象	市民、資源ごみ					
目的	適正に分別し、再資源化を行うことにより、焼却ごみ量の減少、それに伴い埋め立てごみの減少につながり、施設の延命化につながる。また、市民が自ら資源ごみとして認識し分別、排出することで環境意識の向上を図ることを目的とする。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.27	0.27	0.21	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数	0.06	0.06	0.06	0.11	0.11	0.11
人件費計	1,916,863	2,153,346	1,452,349	1,330,720	1,330,720	1,330,720
事業費計	2,285,388	17,279,594	7,278,435	7,368,000	7,368,000	7,368,000
フルコスト	4,202,251	19,432,940	8,730,784	8,698,720	8,698,720	8,698,720

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	2,285,388	11,863,000	7,224,000	7,368,000	7,368,000
フルコストー特定財源	1,916,863	7,569,940	1,506,784	1,330,720	1,330,720	1,330,720
事業費計ー特定財源	0	5,416,594	54,435	0	0	0

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】一般廃棄物リサイクル率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	18	18	18	18	18	18
単年度実績値	13.9	13.7	12.6			
前年比	—	98.56%	91.97%	—	—	—
単年度達成率	77.22%	76.11%	70%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		資源ごみ売却費に対するリサイクル関連事業費割合				
単位		%				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	50	50	50	50	50	50
単年度実績値	37.7	100.4	40.9			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	国や県を始め、再資源化を推進し、それぞれの市町でもリサイクル事業に取り組んでおり、市民に対する分別や3Rの啓発にも繋がっている。	なし
有効性	B: 比較的有效である	再資源化率については、近年減少している。また、排出されているごみを確認したところ、概ね適正に分別されているが、一部、汚れたものなどが見受けられるため、適正な排出について周知していく必要がある。	なし
効率性	B: 比較的效率的である	資源ごみについては、月1度のステーション回収を行っている。その他、市内50カ所に、特定の資源ごみを排出できる回収拠点、市体育館北側には全ての資源ごみが排出できる総合回収拠点があり、市民サービスは充足している。また、ステーションは市直営、市内拠点はシルバー人材センターへの委託で収集を行っており、事業体制の資源ごみの排出場所の多様性については、より一層、排出しやすさを構築することでリサイクルへの啓発にも繋がり、常に時代に合った検討を行う。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	一方、市内拠点については無人という事もあり、一部不法投棄やごみが散乱する事があるため、運営方法について検討する余地がある。	あり
透明性	B: 比較的安全性を確保している	資源ごみの売却単価については、入札で決めており透明性は担保されている。今後も、再資源化率や売却額など、広くホームページ等で周知していくことで、透明性の十分な確保に努める。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので定額ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。
休止・廃止となったときの影響	施設を廃止した場合、地域の拠点へ資源ごみが出されることとなり、無人である地域の拠点が荒れることにも繋がる。また、市民の分別意識が低下し、結果として可燃ごみ量の増加、ポイ捨てなども増加することが想定される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民のリサイクル推進の場として、十分な役割を果たしており、引き続きニーズなどを見ながら継続して事業を行いたい。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010002	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始	平成7年度	終了年度	なし			
実施の概要	ごみ箱等の設置に対して、設置事業費の3分の1(上限7万円)を助成する。					
対象	自治会等地域団体					
目的	各ゴミステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	ごみ箱等設置費助成金交付要綱					

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.05	0.05	0.04	0.03	0.03	0.03
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.01	0.01	0.01
人件費計	339,327	382,493	259,516	229,216	229,216	229,216
事業費計	350,000	280,000	89,000	350,000	350,000	350,000
フルコスト	689,327	662,493	348,516	579,216	579,216	579,216

(2) 歳入

単位: 人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	689,327	662,493	348,516	579,216	579,216	579,216
事業費計ー特定財源	350,000	280,000	89,000	350,000	350,000	350,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】ごみ箱設置補助件数					
単位	円					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	5	5	5	5	5	5
単年度実績値	5	6	3			
前年比	—	120%	50%	—	—	—
単年度達成率	100%	120%	60%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		ごみ箱設置1件に係るコスト				
単位		円				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	137,865.4	132,498.6	69,703.2	115,843.2	115,843.2	115,843.2
単年度実績値	137,865.4	110,415.5	116,172			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	ごみ箱の設置等によりカラスや猫によるごみの散乱防止及び美観確保につながっているため、事業については妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効である	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	なし
効率性	C:効率性が低い	ごみ箱設置1件に係る事業コストを抑えるための工夫をする必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	自治会等地域団体の負担割合を見直すことにより、利用促進を計る。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	各自治会等地域団体において周知を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行っており、地域の美観確保につながっている。
休止・廃止となったときの影響	自治会費等から費用を持ち出すことになるので、効果的なステーション管理の低下に繋がりがねない。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	概ね計画通りに進捗している。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010006	事務事業名	塵芥収集事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する
部名	市民生活部	課名	環境課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図るとともに、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。また、ペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイ等の拠点回収を委託する。		
対象	家庭系塵芥、市民		
目的	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化が図れ、ごみ減量の実施と環境意識を高め、環境保全、環境美化、住みよいまちとなる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	18.81	17.58	18.82	17.27	17.27	17.27
会計年度任用職員数	0.04	1.86	0.04	0.06	0.06	0.06
人件費計	127,711,446	137,209,136	122,162,410	121,071,624	121,071,624	121,071,624
事業費計	48,904,180	43,307,575	60,477,340	57,369,000	57,369,000	57,369,000
フルコスト	176,615,626	180,516,711	182,639,750	178,440,624	178,440,624	178,440,624

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	6,700,000	6,700,000	6,700,000
その他	0	5,900,000	0	0	0	0
フルコストー特定財源	176,615,626	174,616,711	182,639,750	171,740,624	171,740,624	171,740,624
事業費計ー特定財源	48,904,180	37,407,575	60,477,340	50,669,000	50,669,000	50,669,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】世帯数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	13,200	13,200	13,000	13,000	12,900	12,900
単年度実績値	13,120	13,048	12,974			
前年比	—	99.45%	99.43%	—	—	—
単年度達成率	99.39%	98.84%	99.8%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		1世帯あたりの塵芥収集コスト				
単位		円				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	13,379.9717	13,675.5084	14,049.2115	13,726.2018	13,832.6065	13,832.6065
単年度実績値	13,461.5569	13,834.8184	14,077.3663			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	回収時において、ごみの分別の徹底により環境意識の向上が図られている。	なし
有効性	B:比較的有効である	ごみステーションに番号を付けることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図られた。	なし
効率性	B:比較的効率的である	職員定数を確保し、収集業務の一部民間委託を実施している。効率化を図りコスト削減に努めた。(収集車の燃料費、消耗品費等の経費削減)	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	概ね計画通り進捗している。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市民カレンダーへの掲載及びチラシを作成し、全戸配布等をしている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	分別されずごみ出しが行われているステーションがあるので、普及啓発を行う必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民の生活環境面及び衛生面が損なわれる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010007	事務事業名	美化センター管理運営事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	ごみ焼却施設の維持管理を行う。					
対象	美化センター施設、市民					
目的	ごみ焼却施設の維持管理に努め、分別収集によるごみ減量、資源化の促進を図る。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	1.76	1.45	1.76	1.73	1.73	1.73
会計年度任用職員数	0.16	0.16	0.16	0.19	0.19	0.19
人件費計	12,169,652	11,326,669	11,658,426	12,479,614	12,479,614	12,479,614
事業費計	227,163,432	208,301,821	225,310,404	206,291,000	206,291,000	206,291,000
フルコスト	239,333,084	219,628,490	236,968,830	218,770,614	218,770,614	218,770,614

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	25,900,000	10,600,000	17,200,000	0	0
	その他	77,360,354	39,091,000	37,182,000	36,731,000	36,731,000
フルコストー特定財源	136,072,730	169,937,490	182,586,830	182,039,614	182,039,614	182,039,614
事業費計ー特定財源	123,903,078	158,610,821	170,928,404	169,560,000	169,560,000	169,560,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】市民1人が1日に出すごみ					
単位	g					
指標数値のめざす方向	減少					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	600	600	600	500	500	500
単年度実績値	506	495	479			
前年比	-	97.82%	96.76%	-	-	-
単年度達成率						

(2)コスト指標

指標名1		【量】市民1人が1日に出すごみ				
単位		g				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	600	600	600	500	500	500
単年度実績値	506	495	479			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市の役割として、ごみ焼却施設の維持管理に努めた。	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民生活に欠かせない事業としてニーズに適合している。	なし
効率性	A: 効率性が高い	施設の維持管理等、収集計画、処理計画をたて、適正な管理運営を図り経費削減に努めた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	展開検査を行う等、分別の徹底を図った。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	運用についてホームページや広報、チラシ等で随時情報を提供している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新施設の計画が必要となっている。
休止・廃止となったときの影響	ごみの減量、資源化の促進が図れなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理に努めている。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010008	事務事業名	最終処分場管理運営事業	
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり	
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する	
部名	市民生活部	課名	環境課	
事業の開始	平成10年度	終了年度	あり	令和27年度
実施の概要	不燃ごみの埋立てのための施設の維持管理を行う。			
対象	最終処分場、市民			
目的	ごみの減量・減容化に努め、最終処分場の延命を図ると共に長寿命化に対応する適正管理に努める。			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画				
根拠法令	条例・規則・要綱			
	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.44	0.38	0.44	0.43	0.43	0.43
会計年度任用職員数		0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
人件費計		3,000,166	2,921,599	2,869,661	3,049,868	3,049,868	3,049,868
事業費計		2,650,660	3,568,616	5,795,051	3,900,000	3,900,000	3,900,000
フルコスト		5,650,826	6,490,215	8,664,712	6,949,868	6,949,868	6,949,868

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		5,650,826	6,490,215	8,664,712	6,949,868	6,949,868	6,949,868
事業費計ー特定財源		2,650,660	3,568,616	5,795,051	3,900,000	3,900,000	3,900,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】埋立量					
単位		t					
指標数値のめざす方向		減少					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
単年度実績値		832	759	860			
前年比		-	91.22%	113.3%	-	-	-
単年度達成率							

(2)コスト指標

指標名1		埋立量1tあたりのコスト				
単位		%				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	5,650.826	6,490.215	8,664.712	6,949.868	6,949.868	6,949.868
単年度実績値	6,791.8582	8,551.0079	10,075.2465			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市の役割として最終処分場の維持管理に努めた。	なし
有効性	B: 比較的有效である	市民から排出された不燃ごみを再度分別し、埋立量を減らすことにより最終処分場の延命化を図った。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	分別の徹底、施設の点検等によりコスト削減を図った。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	今後も施設の効率的な運営に務める。	なし
透明性	C: 透明性が低い	最終処分場についての情報は、住民へは提供しにくが、施設見学等の場を設け広報活動に務めている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋立てごみの削減を図る必要がある。
休止・廃止となったときの影響	不燃ごみの埋立てが滞り、市民の生活環境が損なわれる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	埋立てについて、減量を図りながら延命化に努める必要がある。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010009	事務事業名	粗大ごみ処理事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	粗大ごみの中間処理を委託する。					
対象	粗大ごみ、市民					
目的	粗大ごみと資源ごみを適正に分別し、効率的な収集と適正処理に努める。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.91	0.7	0.87	0.84	0.84	0.84
会計年度任用職員数		0.01	0.01	0.01	0.04	0.04	0.04
人件費計		6,189,847	5,369,559	5,659,463	5,959,660	5,959,660	5,959,660
事業費計		4,775,883	3,722,698	3,597,500	6,832,000	6,832,000	6,832,000
フルコスト		10,965,730	9,092,257	9,256,963	12,791,660	12,791,660	12,791,660

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		10,965,730	9,092,257	9,256,963	12,791,660	12,791,660	12,791,660
事業費計ー特定財源		4,775,883	3,722,698	3,597,500	6,832,000	6,832,000	6,832,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】粗大ごみ1kgあたりの処理費用					
単位		円					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		20	20	20	20	20	20
単年度実績値		21	11.4	10.3			
前年比		—	54.28%	90.35%	—	—	—
単年度達成率		105%	57%	51.5%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1							
単位							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値							
単年度実績値							

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	現施設では不燃粗大ごみの処理ができないことから、中間処理委託事業は必要である。	あり
有効性	B: 比較的有效である	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	来年度も処理量、処理委託料の削減を図る方策を検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	粗大ごみの出し方、分別について、ホームページや広報にて周知している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。
休止・廃止となったときの影響	粗大ごみと資源ごみの適正処理が滞る。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010010	事務事業名	ごみ有料化事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	指定ごみ袋・シール券の作成及び販売店への手数料の支払い事業を行う。					
対象	家庭系ごみ、市民					
目的	ごみ袋の有料化による、ごみ量の削減とリサイクルの推進					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則並びに相生市指定ごみ袋等取扱要綱					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.18	0.16	0.15	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数	0.09	0.09	0.09	0.14	0.14	0.14
人件費計	1,348,319	1,355,800	1,108,019	967,788	967,788	967,788
事業費計	21,633,514	27,016,110	30,271,124	38,805,000	38,805,000	38,805,000
フルコスト	22,981,833	28,371,910	31,379,143	39,772,788	39,772,788	39,772,788

(2) 歳入

単位：人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	3,853,000	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	21,633,514	28,833,000	36,187,000	38,805,000	38,805,000
フルコストー特定財源		1,348,319	-4,314,090	-4,807,857	967,788	967,788
事業費計ー特定財源		0	-5,669,890	-5,915,876	0	0

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】ごみ袋購入枚数					
単位	枚					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
単年度実績値	1,100,600	1,024,400	1,234,600			
前年比	-	93.07%	120.51%	-	-	-
単年度達成率	91.71%	85.36%	102.88%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1		ごみ袋購入コスト					
単位		円					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		19.1515	23.6433	26.1493	33.144	33.144	33.144
単年度実績値		20.8812	27.6961	25.4164			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	ごみ袋の作成、保管、配達等を含めた袋の作成については適切である。	なし
有効性	B: 比較的有效である	市内60か所以上の店舗で、ごみ袋等の販売を行い、市民が購入しやすいようサービスを行っている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	ごみ袋の適正管理に努め、無駄な在庫がないようにし、コスト削減を図る。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	在庫管理の徹底を図る。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ごみ袋の有料化について、広報や市民カレンダー等で理解を得ている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	コスト削減や在庫管理の徹底を図る。
休止・廃止となったときの影響	適正なごみ量の削減とリサイクルの推進が損なわれる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	概ね計画通りに進捗している。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010011	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	資源ごみの中間処理を行う。					
対象	資源ごみ、市民					
目的	適正なごみの分別により、リサイクルを推進する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		1.57	1.47	2.49	3.49	3.49	3.49
会計年度任用職員数		0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
人件費計		10,739,385	11,333,199	16,244,786	24,558,144	24,558,144	24,558,144
事業費計		13,034,023	14,658,296	37,358,108	17,376,000	17,376,000	17,376,000
フルコスト		23,773,408	25,991,495	53,602,894	41,934,144	41,934,144	41,934,144

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	7,700,000	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		23,773,408	25,991,495	45,902,894	41,934,144	41,934,144	41,934,144
事業費計ー特定財源		13,034,023	14,658,296	29,658,108	17,376,000	17,376,000	17,376,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】資源ごみ搬入量					
単位		t					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
単年度実績値		767	705	629			
前年比		—	91.91%	89.21%	—	—	—
単年度達成率		76.7%	70.5%	62.9%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		資源ごみ1tあたりの搬入コスト				
単位		円				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	23,773.408	25,991.495	53,602.894	41,934.144	41,934.144	41,934.144
単年度実績値	30,995.3168	36,867.3688	85,219.2273			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市の役割としてリサイクルセンターの維持管理に努めた。	なし
有効性	B: 比較的有效である	資源ごみの回収は月1回のため、量販店等による資源ごみ回収拠点の整備を図り、また、市体育館北側にも資源ごみ回収拠点を設置し、市民サービスの向上に努めている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	事業系ごみ分別の徹底を図り、事業コスト削減に努めた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	資源ごみのリサイクルについて周知していく必要がある。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	適正なごみの分別やリサイクルを推進するために、周知方法を工夫する必要がある。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要がある。逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	適正なごみの分別が図れなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使い捨てからリサイクルの定着に対応すべく、分別の徹底によりごみの適正処理ができている。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302010012	事務事業名	環境クリーン事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する
部名	市民生活部	課名	環境課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	不法投棄対策として、また、環境美化への啓発として、不法投棄パトロールの実施及び不法投棄物の回収業務を委託する。		
対象	投棄ごみ、市民		
目的	主に道路、河川、公園に不法投棄された廃棄物の回収処理により、ごみのないきれいなまちづくりに努める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.16	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,085,848	917,985	778,549	840,465	840,465	840,465
事業費計	2,962,080	3,105,960	3,333,000	3,335,000	3,335,000	3,335,000
フルコスト	4,047,928	4,023,945	4,111,549	4,175,465	4,175,465	4,175,465

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	4,047,928	4,023,945	4,111,549	4,175,465	4,175,465	4,175,465
事業費計ー特定財源	2,962,080	3,105,960	3,333,000	3,335,000	3,335,000	3,335,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】不法投棄物回収量					
単位	kg					
指標数値のめざす方向	減少					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
単年度実績値	4,091	3,650	4,340			
前年比	-	89.22%	118.9%	-	-	-
単年度達成率						

(2)コスト指標

指標名1	不法投棄物回収量1kgあたりの経費					
単位	円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,011.982	1,005.9863	1,027.8873	1,043.8663	1,043.8663	1,043.8663
単年度実績値	989.4715	1,102.4507	947.3615			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市内パトロールにより市内の環境美化が図られている。	なし
有効性	B: 比較的有効である	市内の環境美化が図られている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	市内パトロールにより市内の環境美化の啓発と処理について、適切に行われている。また、過去より不法投棄が多い地区などを把握し、最適な清掃ルートを選択することで効率よく業務を行っている。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	周回ルートや業務内容の見直しを行う。	あり
透明性	C: 透明性が低い	不法投棄の防止につながるよう、広報やホームページにて周知する。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。
休止・廃止となったときの影響	市内の環境美化が損なわれる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	概ね計画通り進捗し、市内の環境美化が図られた。今後も周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究し、ごみの適正処理を推進していく。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302030001	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	感染症の蔓延を予防する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金交付要綱					
対象	市民、公衆浴場経営者					
目的	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持を図る					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	公衆浴場設備改善資金利子補給補助金交付要綱					

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.01	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.01	0.01	0.01
人件費計		67,865	76,498	64,879	19,100	19,100	19,100
事業費計		0	0	0	1,000	1,000	1,000
フルコスト		67,865	76,498	64,879	20,100	20,100	20,100

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		67,865	76,498	64,879	20,100	20,100	20,100
事業費計ー特定財源		0	0	0	1,000	1,000	1,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		利子補給対象借入件数					
単位		件					
指標数値のめざす方向		減少					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		1	1	1	1	1	1
単年度実績値		0	0	0			
前年比		-	-	-	-	-	-
単年度達成率							

(2)コスト指標

指標名1		借入件数1件に係るフルコスト				
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	67,865	76,498	64,879	20,100	20,100	20,100
単年度実績値						

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	C:妥当性が低い	市内に公衆浴場が1軒のみとなった現状で、公衆衛生維持のためにも唯一存続している公衆浴場の経営安定化の支援が必要である。	なし
有効性	C:有効性が低い	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂がない借家や古い家屋が多くあり、ここ数年で利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り公衆浴場の存続が必要である。	なし
効率性	B:比較的効率的である	本制度は、利用者も少なく、投資効果が無い中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は適切な手段である。	なし
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	市内唯一存続している公衆浴場の維持のために、引き続き事業は存続させる。	なし
透明性	C:透明性が低い	近年では、利用実績がない。	なし

(2) 総合評価

総合評価
C

(3)方向性評価(担当者)

方向性	E:廃止
所見	市内に1軒のみ公衆浴場が存続しているが、長年事業利用の実績がなく、当該事業者によれば今後も当事業利用の予定はないとのことから、廃止も含めて検討を行う。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	E:廃止
所見	市内に1軒のみ公衆浴場が存続しているが、長年事業利用の実績がなく、当該事業者によれば今後も当事業利用の予定はないとのことから、廃止も含めて検討を行う。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302030002	事務事業名	衛生害虫駆除事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	感染症の蔓延を予防する			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布(SV乳剤→水性サフロチン)					
対象	地域、市民					
目的	日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		135,731	152,997	129,758	140,077	140,077	140,077
事業費計		0	0	36,960	312,000	12,000	12,000
フルコスト		135,731	152,997	166,718	452,077	152,077	152,077

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源		135,731	152,997	166,718	452,077	152,077	152,077
事業費計ー特定財源		0	0	36,960	312,000	12,000	12,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【量】薬剤配布					
単位		件					
指標数値のめざす方向		維持					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		20	20	20	20	20	20
単年度実績値		10	10	10			
前年比		—	100%	100%	—	—	—
単年度達成率		50%	50%	50%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		薬剤配布1本に係るフルコスト					
単位							
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		6,786.55	7,649.85	8,335.9	22,603.85	7,603.85	7,603.85
単年度実績値		13,573.1	15,299.7	16,671.8			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	地域住民による環境美化活動の一環でもある地区清掃に対し、害虫駆除のための薬剤配布は妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効である	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	なし
効率性	B:比較的効率的である	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	市民の協力のもと地区清掃等で行っている薬剤散布が環境衛生の保持につながっている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	害虫駆除については、ホームページ等でPRに努めている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	概ね計画通りに進捗している。
休止・廃止となったときの影響	自治会の費用負担が増える。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	概ね計画通りに進捗している。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302040001	事務事業名	葬儀事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	墓地などの適正管理に努める			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始	平成7年度	終了年度	なし			
実施の概要	葬儀に使用する消耗品の購入、保管及び祭壇等の運搬・撤収等の委託。					
対象	市民、自宅葬儀					
目的	自宅等での葬儀において、利用者の利便性を高め、円滑な葬儀の運営を支援する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.21	0.23	0.14	0.06	0.06	0.06
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.08	0.08	0.08
人件費計	1,425,176	1,759,471	908,307	573,032	573,032	573,032
事業費計	1,835,618	3,610,231	7,164,393	3,100,000	3,100,000	3,100,000
フルコスト	3,260,794	5,369,702	8,072,700	3,673,032	3,673,032	3,673,032

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	3,260,794	5,369,702	8,072,700	3,673,032	3,673,032	3,673,032
事業費計ー特定財源	1,835,618	3,610,231	7,164,393	3,100,000	3,100,000	3,100,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】葬儀件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	88	109	112			
前年比	—	123.86%	102.75%	—	—	—
単年度達成率	88%	109%	112%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1						
単位		ささゆり苑での葬儀件数1件に係るコスト				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	32,607.94	53,697.02	80,727	36,730.32	36,730.32	36,730.32
単年度実績値	37,054.4773	49,263.3211	72,077.6786			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	適正な運営に努めることにより、市民の需要に応えることができる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	祭壇の運搬及び撤収等について親身かつ丁寧な対応に努め、利用者に対して適正な霊柩業務を提供できた。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	霊柩業務及び祭壇の運搬・撤収等について、効率的な運営を図りコスト削減に努めた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	利用者のために備品等の更新を行いながら、適正な管理に努めることができた。	なし
透明性	B: 比較的可見性を確保している	HP等により情報を公開している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	令和4年度中に葬儀祭壇等の入替えを実施しているが、今後も経費削減に努めつつ、安全に運営を行えるように備品の修繕及び更新を行う。
休止・廃止となったときの影響	当事業は市民生活において必要不可欠のため、休止または廃止とすることは現実的でない。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	適正かつ効率的な運営を行うことができた。

事務事業評価シート

年度
5

1. 基本情報

事業番号	040302040002	事務事業名	ささゆり苑管理運営事業			
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり			
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	墓地などの適正管理に努める			
部名	市民生活部	課名	環境課			
事業の開始	平成7年度	終了年度	なし			
実施の概要	相生市ささゆり苑の管理運営を行う。					
対象	市民					
目的	ささゆり苑に係る管理運営の健全化を図り、使用者の利便性を高める。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	条例・規則・要綱					
	相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.26	0.3	0.2	0.05	0.05	0.05
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.15	0.15	0.15
人件費計	1,764,504	2,294,963	1,297,582	636,694	636,694	636,694
事業費計	40,271,071	47,051,851	37,209,423	37,133,000	37,133,000	37,133,000
フルコスト	42,035,575	49,346,814	38,507,005	37,769,694	37,769,694	37,769,694

(2) 歳入

単位：人、円

実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	16,377,000	19,363,000	19,664,000	18,281,000	18,281,000
フルコストー特定財源		25,658,575	29,983,814	18,843,005	19,488,694	19,488,694
事業費計ー特定財源		23,894,071	27,688,851	17,545,423	18,852,000	18,852,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】使用料収入					
単位	円					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	18,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
単年度実績値	16,377,000	20,099,600	20,300,200			
前年比	—	122.73%	100.99%	—	—	—
単年度達成率	90.98%	100.49%	101.5%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名 1		事業費に係る使用料割合				
単位		%				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	0.4282	0.4053	0.5194	0.5295	0.5295	0.5295
単年度実績値	0.3896	0.4073	0.5272	0	0	0

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	民間葬儀場で葬儀を行う人が増えており、工夫しながら利用者を取り込む必要がある。	なし
有効性	A: 有効性が高い	施設の維持管理について、部分修繕等による延命化に努めるとともに、定期的な点検を実施し、利便性を維持しながら市民サービスに努めることができた。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	利用者の負担割合について、大規模な改修を除き、5割程度の受益者負担を得ており、適正である。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	施設の老朽化に伴う火葬炉の積替修繕等、大規模な改修を実施計画に基づき行っていくことにより、適正な維持管理に努めることができた。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ささゆり苑のパンフレット等を年度ごとに更新しており、使用料の周知等、情報提供を滞りなく行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民に欠かせない施設として、火葬炉修繕を行いながら延命化に努め、多様化する市民ニーズに対応できるように効率的な運営を図ることができた。
休止・廃止となったときの影響	市民の生活環境が保持できなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	民間での葬儀が増えている中で、ささゆり苑を利用する人が不便なく利用できるように施設の管理に努め、効率的な運営を図ることができた。今後も適正かつ効率的な運営に努める。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	040302040003	事務事業名	市営墓地管理事業	
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	環境にやさしいまちづくり	
基本施策	環境衛生の保持	取り組み事項	墓地などの適正管理に努める	
部名	市民生活部	課名	環境課	
事業の開始		終了年度	なし	
実施の概要	市営墓地の適正な維持管理を行うとともに、貸付・返還事業を行う			
対象	市営墓園、市民			
目的	市民の墓地需要に対して、可能な範囲で対応することで、安心して市民が生活することができる。			
事務事業類型	ソフト事業			
関連計画				
根拠法令	条例・規則・要綱			
	相生市営墓園条例、施行規則、相生市営墓地条例、施行規則			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.36	0.38	0.38	0.08	0.08	0.08
会計年度任用職員数		0.04	0.04	0.04	0.34	0.34	0.34
人件費計		2,499,488	2,965,540	2,525,331	1,209,709	1,209,710	1,209,710
事業費計		60,370,548	26,848,771	13,190,789	15,612,000	15,612,000	15,612,000
フルコスト		62,870,036	29,814,311	15,716,120	16,821,709	16,821,710	16,821,710

(2) 歳入

単位：人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	54,824,330	26,138,000	12,295,000	15,399,000	15,399,000	15,399,000
フルコストー特定財源		8,045,706	3,676,311	3,421,120	1,422,709	1,422,710	1,422,710
事業費計ー特定財源		5,546,218	710,771	895,789	213,000	213,000	213,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		合葬式墓地貸付件数					
単位		件					
指標数値のめざす方向		維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
単年度計画値		50	100	85	85	80	
単年度実績値		271	75				
前年比	－	－	27.67%	－	－	－	
単年度達成率	－	542%	75%	－	－	－	

(2)コスト指標

指標名1		貸付件数1件に係る維持管理経費				
単位						
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		596,286.22	157,161.2	197,902.4588	197,902.4706	210,271.375
単年度実績値		110,015.9077	209,548.2667			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	公設の墓地需要については様々なニーズがあり、令和4年度から供用開始した新たな形式である合葬式墓地の維持管理に努めている。既存の一般墓地についても、いつでも貸付を行うことができるよう適正に管理しており、市民のニーズに迅速に対応できるようにしている。	なし
有効性	B: 比較的有效である	墓地の新設、返還時に現地調査を行い、設置基準が守られているか確認し、適正管理に努めた。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	墓地使用料の還付割合を5年未満使用の場合は0としており、返還数を抑えることにより、墓地貸付率を維持している。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	一般墓地の返還数が極端に増加しないように維持できており、貸付率も90%台で推移している。また、市民サービスの部分でも特に問題なく運営できているが、来年度以降、合葬式墓地を含めた市営墓園のPR強化に努めながら、サービスの質的な改善に努める。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	一般墓地について、墓地台帳や貸付状況一覧で管理しており、市民にも情報提供できる範囲で空き状況等を公開している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、墓地の貸付数についてはここ数年5件程で推移しており、需用費等のコストを抑えることで、1基あたりの維持管理経費を大幅に減少させることにつながっている。
休止・廃止となったときの影響	市民の墓地需要に対応できなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	一般墓地貸付率が90%台で推移しており、市民サービス面でも適正に運営できている。現状のまま事業を継続していく。